

(様式 1)

## 令和 2 年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
県民公園自然博物館 自然保護課

2 施設所在地  
富山市婦中町吉住 1 - 1

3 施設設置年度  
昭和 5 6 年度

4 設置目的  
自然に親しみ学習する機会を提供し、展示館と自然観察のためにフィールドを利用して自然保護思想の普及を図ることで、県民の教育向上ならびに福祉の増進に寄与することを目的とする。

5 施設概要  
敷地面積：147,498㎡  
自然博物館センター  
・延床面積：726.54㎡  
・構造：鉄筋コンクリート 2 階建  
・施設内容：1 階 展示室、レクチャールーム  
2 階 展示室、事務室、トイレ、研究資料室等  
鳥獣保護センター  
・延床面積：112.52㎡  
・構造：管理棟 鉄筋コンクリート造平屋建 一部鉄筋金網造  
・施設内容：救護室、飼育室 8 室  
・関連施設：焼却施設  
フィールド  
・山林：約12.8ha  
・園路：1 周約 2 km 自然観察路  
・工作物：シンボルタワー 1 基木造、標識 1 基木造

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
5 年  
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H28	H29	H30	R1	R2
20,583	18,484	19,374	18,859	15,668

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H28	H29	H30	R1	R2
-	-	-	-	-

【参考】利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H28	H29	H30	R1	R2
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数:3,191人減少(R元年度比)  
 【評価】新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設の臨時休館(4月18日～5月19日)もあり、利用者は令和元年度と比較して8割程度にとどまった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・令和2年度に、リピーターの方の声に応えるため、展示館1階フロアの床と展示物「野鳥の鳴き声」を改修した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・指定管理導入以来、マスコミや来館者などに対し、積極的に情報提供を行った。  
 ・指定管理導入以来、「リアルタイム自然情報」やHP、ブログ、園内の看板の更新の他、利用者への積極的な対応を行っている。  
 ・平成27年度より、近隣の小学校、幼稚園、保育所などを訪問し、直接施設の魅力についてPRしている。  
 ・令和2年度に、ねいの里を利用している児童の自然とのふれあいの様子を捉えた写真展を開催した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：139人
結果	「満足」「やや満足」約90%
結果を踏まえた改善事項	アンケートの結果により、リピーターの利用が半数以上を占めていることがわかった。リピーターの方の声に応えるため、展示館1階フロアの床と展示物「野鳥の鳴き声」を改修した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

・意見箱の設置  
 ・HPやメールの活用  
 ・ボランティアや利用団体等との意見交換

③主な苦情と対応

展示用トカゲに関する苦情が寄せられ、来園者が触る方法に工夫を加えた。

(5) 個人情報保護の取組み

・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・保育園、幼稚園での出前講座を実施した。
- ・地元保育所、小学校などの校外学習サポート、環境教育を行った。
- ・「ねいの里自然塾の会」と連携し、行事を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・各施設の整備点検、施設修繕を実施し、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・災害、事故等の連絡体制を定め、迅速に対応
- ・池や崖地周辺への侵入防止柵の設置
- ・AEDの管理や講習会への参加
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、展示館の各所でのアルコール消毒液の配置
- ・入口や窓の開放など換気対策の徹底とノブやテーブルなどの消毒

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	12
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者が減少しているものの、コロナ禍の中自然体験施設のニーズは高まっていると感じている。引き続き感染防止対策を実施し、利用者の意向を反映させながら、様々な企画や管理に工夫して取り組んでいく必要がある。